



### 都心のまん中、300の梅

異例の大雪の中、東京・文京区で始まった文京梅まつり。第69回目の今年も、初日から大勢の人で賑わいを見せていました。ですが参加者は目測100人と、例年より圧倒的に人数は少なかったです。ですが祭りは盛り上がりを見せ、偶然参拝に来ていた外国人も梅まつりが開祭中ということに驚きを隠せません。今年で69回目の梅まつり。そのあなたちも、ぜひ足を運んでみてください。

小学4年 あんどう



### 写真スポットにどうぞ！ 湯島天満宮の梅園

文京花の五大まつりの一つ、文京梅まつり。約三百本の梅が咲き誇る中、様々な屋台が並びます。わたしは、梅まつり実行委員の山川さんにお話をうかがいました。山川さんは、「真っ赤な梅の花と、緑の松の並ぶ所が好き」と語っていました。「思いのままに」という梅の品種は、赤と白の花が一本の木に両方咲きます。そのことから、名前がついたといわれています。そして、一つの花に赤と白が咲くレアなつぼみの写真も見せてくれました。

小学4年 おすだ



### 雪の日に、寒さにたえて、 梅まつりにパンダ出店中！

雪がふり、人も少ない湯島天満宮。受験シーズンだから人が多いと思っていたけど、雪で人が少なく、実際の温度より寒く感じた。門をくぐると、大きなパンダの人形がむかえてくれた。少し進むと、上野案内所のお店があった。そこにはパンダの人形や、きせかえ用の千代田線の洋服、リュックがあった。梅まつり限定のパンダもいた。いつもなら、長い列があるらしいが、雪でほぼ人がいない。それでもパンダに元気をもらえてうれしかった。

小学4年 みなみだ



まつり初日限定の梅型チョコ

### 湯島天満宮で 梅と雪にかこまれた梅まつり

第69回文京梅まつり初日は、東京でも珍しい大雪だった。大雪の中でも湯島天満宮に足を運んだ四組に取材した。俳句を詠んでいた人は「梅・雪・合格など季語が多い」と笑っていた。様々なPRをする文京区観光協会の職員は「大雪でお客様が少なく初日限定の梅型チョコが売り切れるか心配だ」と言っていた。外国人観光客は、特定技能試験の受験合格祈願のために来ていた。巨大な合格祈願の絵馬を見て驚いたのでぜひ訪れてほしい。

小学5年 はま



名産品がズラリ！金沢市物産展のブース

### 石川県の魅力!! ～歴史と文化の金沢市～

私がインタビューをしたのは、石川県金沢市の物産展です。お土産に大人気なのは、「きんつば」というあんこの入ったおかしです。他には、金箔の入った「あぶらとり紙」や色々な味がある「ピーパー」なども売っていました。お店には、「ひゃくまんさん」というキャラクターがいました。その名前は、百万石からきているそうです！金沢は、歴史と文化のあるところです。皆さんもぜひ金沢に行って、五感を体験してみませんか？

小学4年 いのうえ



子ども記者が届けるまつりの魅力！



## まつり広報 文京花めぐり

第3号「文京梅まつり」(湯島天満宮/ほか白梅商店会)

発行 文京区観光協会

学問の神さまがまつられ、梅の名所として知られる湯島天満宮。2026年2月8日(日)から3月8日(日)まで、「文京梅まつり」が開催されました。開催初日の天気は雪。雪景色の中で咲き始めた梅の花が繊りなす幻想的な風景に、訪れた人々は足を止め、見入る姿が多く見られました。

そんな中、小中学生11人が子ども記者として、まつりの取材に挑戦。降りしきる雪にも負けず、自分の目と耳で「まつりの魅力」を探しました。今回のまつり広報『文京花めぐり』第3号では、そんな子ども記者たちが見つけたまつりの見どころや、人のぬくもりをいきいきと紹介します。



取材日  
2/8(日)  
天気

奉納演芸が行われる  
屋外ステージ

小能実行委員長にインタビュー！

### 実行委員長の小能さんに聞いた！ ～梅まつりの歴史～

昔、湯島天満宮の境内の梅園は戦争により荒廃してしまいましたが、地元の人々によって再整備されました。また、観梅に来た参拝者などに楽しんでもらうために梅まつりが行われるようになりました。これが梅まつりの起源とのこと。私は、湯島天満宮の梅が震災に遭っていたことに驚き、昔の人々が復活させて守り継いできた梅を大切にしていこうと思いました。このような貴重なお話をしてくださった小能さんには感謝しかありません！

中学1年 まつだ

### 第69回梅まつり実行委員長に インタビューしてみた！

梅まつりとは、湯島天満宮で行われている梅を見てもらうための祭りです。2月8日から3月8日に行われており、約45万人が来場します。学問の神様がいらっしゃるため、合格祈願に来る人が一番多いそうです。実行委員長は京都から九州に飛んだと言われている飛梅を見てほしいと語っています。最近達成感を得たことは、日本中から約1250万円が集まり梅園を直すことができたことだそうです。また、梅まつりのために9月から準備を行っています。

小学6年 まるやま

### 編集後記

『文京花めぐり』第3号では、「文京梅まつり」を特集しました。まつり会場の雰囲気や、地域の人々のあたたかな交流、受け継がれてきた伝統の空気が、少しでも読者の皆さんに届いていれば幸いです。取材に参加した子どもたちは、初めてのインタビューにも前向きに挑戦し、終始いきいきと活動してくれました。今回はいよいよ最終号。テーマは「文京くらまつり」(3月)です。春の訪れを告げるさくらの花とともに、子どもならではの視点で、まつりの魅力をお届けします。どうぞご期待ください。



まつりの魅力を発信する、子ども記者チーム！

### 梅まつりに参加している 東大まんがくらぶの方々！

梅まつりでは、東大まんがくらぶが似顔絵を描いてくれます。今回は毎週土日の9時から15時まで、1人500円で描いてもらえて、いつもは、4コマ、SFマンガなどを描いているそうです。いつでも笑顔でお客さんに接していることがすごかったです。スタッフの方はもともとは絵を描くのが好きで、マンガのお話を考えたり、自分のマンガを見てもらうのも好きなので、交流があるまんがくらぶに入ったそうです。ぜひ、梅まつりに行ってみてください。

小学4年 かねだ



### 梅のモチーフがたくさん！ 湯島天満宮

湯島天満宮に様々な梅のモチーフがかくれていることを知っていますか？門やかんぽん、鳥居など数えきれないほどあります。一番数が多かったのがかべ紙で、1つのかべに何十個もありました。こんなに梅のモチーフがある理由は、まつられている菅原道真公が梅を愛していたからだそうです。沢山の梅のモチーフを入れるほど神社や町の人が菅原道真公をそんけいしているのだと感じました。ぜひみなさんも探してみてください！

小学4年 くりばやし



### 雪に包まれた湯島天満宮 ～毎日焼きたてドラ焼き!!～

湯島天満宮の境内を歩いていると「いらっしゃいませ～おいしいドラ焼きです～」の声。ためしに行ってみるとそこはドラ焼き屋「丹波やながわ」だ。本郷二丁目に店を開けてから三年。毎日焼くドラ焼き「どら福」と兵庫から送ってもらう大福はうまそう。今日は雪で客が少なかった。けれどさっそく二人の客がドラ焼きを二つ買っていった。今回は、取材でドラ焼きや大福が買えなかったから、来年はお金を持って買いに来たい。今日、ぼくは決めた。

小学4年 はやし



### 全国に一店舗!! 地元で愛される、 かりんとう屋の秘密

私が行ったのは創業79年のかりんとう屋さん「ゆしま花月」です。かりんとうの作り方は、ねった小麦粉を油であげる。あげるのを3度くり返すことでサクサクとした食感になる。そしてみつを作るときに、黒糖ではなく白砂糖を使うことで他の店のかりんとうにくらべキラキラしている。火の入れ方にもこだわっており、「強火で作っているの、目ははなしたらすぐこげちゃう」とお店の人は苦笑していた。今度、家族で食べてみたい。

小学4年 まつお



白梅商店会のお店の方にもお話を聞きました